

地域が主体となったサルの被害防止対策

1 要旨

○下関市豊田町大字大河内地区では、サルによる農作物被害(水稲/果樹/野菜)の低減を図るため、地域ぐるみによる大型囲いわなの設置等を実施し、農家の生産意欲の向上を目指す。

2 地区の概要

地区名	下関市豊田町大字大河内地区
戸数	68戸(うち農家51戸)
耕作面積	田44.10ha
主な作物	水稲、野菜など
加害獣種	サル
対策実施年度	令和元年度



3 被害の状況と課題

- サルによる農作物被害(水稲、麦、大豆等)が頻発しており、農家の生産意欲が低下している。
- 侵入防止柵の設置や花火・爆竹による追い払いを集落が連携して試みているが、十分な効果が得られず根本的な対策が必要である。
- 放任果樹が集落内へサルを誘引している実情があり、地域ぐるみでの対策が必要である。

4 取組内容

(1) 推進体制の整備

- 被害防止活動に取り組むための推進体制の整備と役割の明確化
 - ・下関市：協議会の運営・地域アドバイザー
 - ・下関市鳥獣被害防止対策協議会：大型囲いわなの導入設置
 - ・下関農林事務所：鳥獣被害防止・駆除に関する助言
 - ・豊田猟友会：捕獲体制支援(銃器・わなによる駆除等)
 - ・大河内自治会：情報提供と被害対策への協力

(2) 活動方針の作成

○ 市当局と地域住民が連携し、「集落環境調査」を基に3か年の活動方針を作成した。

(3) 実践活動

- ① 生息地管理：遊休農地の保全管理、緩衝帯の設置
- ② 防護：防護柵の点検・補修・管理、放任果樹・農作物残渣の除去
- ③ 捕獲：箱わなの設置、銃猟の実施、サル用大型捕獲柵の設置



大型囲いわなの設置



囲いわなの適正管理

5 取組の成果

○ サル用大型囲いわなによる捕獲頭数は6頭であった。サルを目撃情報はあ
るものの、囲いわなでの捕獲頭数の増加には至らなかったが、防護等を徹底し
たため、被害額を減少することが出来た。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
サル	1,020	915	▲105	890	▲130	454	▲566

6 地区代表者のコメント

○ サル用大型捕獲柵の設置年度には捕獲があったものの、令和3年度以降に
ついては捕獲がされていない。サルによる被害は減少しているものの、引き続
き被害軽減に向けた取り組みが必要と思う。イノシシやシカも同様であり、こ
れからも集落全体で協力して取り組みたい。

7 今後の取組

○ 侵入防止柵の点検や被害発生場所の把握等、定期的に集落環境の調査を行
い、被害の原因となる問題を解決していくことが重要となるため、策定した活
動方針を基に集落全体で被害防止活動を行っていく必要がある。